



くれよん

2008年3月21日 第50号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市忠生3-12-11
電話 042-791-2556
広報委員会 発行

請願 継続審査に

3月町田市議会に当法人が提出した「学童保育クラブの充実を求める請願」は、3月17日の文教生活常任委員会で審議されました。

請願の趣旨に賛同してくださった会派と紹介議員は、自民党おさむら敏明議員、公明党上野孝典議員、まちだ新世紀（自民）若林章喜議員、共産党佐藤洋子議員です。

子ども生活部長の答弁では、国が昨年秋に発表した「放課後児童クラブガイドライン」の趣旨は理解していること、市内の100名を超えているクラブに対しては増築・分園等の対応をしている、「分割」は今すぐ実現することは難しい状況にあるとのことでした。

議員から質問が多数あり、今後の人口動態やニーズの分析など、調査が必要との意見がまとまり、継続審査となりました。

今後は6月議会に再審議することになります。ご協力いただいた請願署名は、11,877筆でした。短い期間にもかかわらず、多くの方にご賛同、ご協力いただきました。ありがとうございます。今後も引き続き署名を集めていくことになります。

第1回 町田学童保育指導員学校 開催

2月17日（日）町田市教育センターにて第1回町田市学童保育指導員学校が開催されました。当日は23学童クラブから93名の参加があり、たくさんの方々のご協力の中で全体会と4つの分科会が行われました。学童保育をテーマに学び、語り合うことのできた一日となりました。

午前の全体会では、来賓として、社会福祉協議会会長の佐々木のり様、当法人三階理事長の



挨拶がありました。その後、全体講義として桜美林大学の茂木俊彦先生による「障がいのある子どもと学童保育」というテーマでの講演がありました。障がいのある子どもの理解を深めるための基本的視点や、学童保育の生活やとりくみにおいて大切にすべきこと、保護者とのかわり方など具体的にお話しされ、茂木先生の子どもたちにむけるあたたかくやさしい眼差しが伝わってくるお話でした。

午後は4つのテーマに分かれての分科会でした。

＜第1分科会 入門講座＞ 「学童保育の生活・指導員の仕事」

講師：鴨下指導員（社会福祉協議会事務局）・青木指導員（大蔵学童クラブ）

内容：学童保育の役割、指導員の仕事・役割について学びあいました。後半は、それぞれ自分の日々の実践をふりかえりながら、意見交流を活発におこないました。



＜第2分科会 理論講座＞ 「町田の子どもたちは今」

講師：町田子ども家庭支援センター 職員 井上 廣美さん

内容：町田子ども家庭支援センターの役割、町田の子育ての現状について話していただき、その後参加者の意見交流会がありました。

＜第3分科会 実践講座＞ 「地域の中での学童保育」

講師：玉川学園子どもクラブ ころころ児童館 館長 内田延子さん

内容：様々な場面で“地域”という言葉が注目されている中、作り運動から実際の児童館運営まで地域とのつながりを大切にしているころころ児童館の内田さんの実践をお聞きました。地域という“顔なし”を“顔あり”にできるように共に頑張っていきましょう。とエールをいただきました。



＜第4分科会 実技講座＞ 「作って飛ばそう」

講師：北島指導員（第一なかよし学童クラブ）

内容：簡単な紙飛行機作りから高度なグライダー作り、明日の保育からもすぐに使える紙飛行機を紹介。実際に製作し、参加者で飛ばし方のコツも学びました。



＜保育の作品展示コーナー＞

（文責：小野）

ちょっと拝見！

金井学童保育クラブ



2008年1月4日 金井学童保育クラブが開所いたしました。施設の建設が遅れたため、1ヶ月半は金井小学校のランチルームをお借りして保育を行いました。

さっそく10日には、子どもたちと“金井学童保育クラブこれからよろしくね！”の会をしました。自己紹介ゲームの中で一人ひとりの紹介、指導員特製のプラバンキーホルダー・おりがみのプレゼントがあり、おやつにケーキを食べとまだ緊張しながらも楽しいひとときを過ごすことができました。

下校後の広々とした校庭では、凧揚げ、ボールあて、ドッチボール、キックベースと寒い季節でしたがたくさん走りまわって遊びました。金井小学校のご協力をいただき、ランチルームのほかに、プレイコーナーや図書室の利用もさせていただきました。子どもたちにとっては、慣れた小学校の空間なのですが授業以外で特別に使えることがちょっとうれしいようでした。でも、毎日のように、建設中の学童クラブ室を眺めては、「まだかなあ」「屋根ができたよ」「電気がついたよ」と完成を心待ちにしていました。

新学童保育クラブ室完成！ 2月15日

待ちに待ったお引っ越しが始まりました。3日間かけて子どもたちと少しずつ荷物を運びいれました。毎日、ランチルームに集合。自分のランドセルと学童クラブの荷物を持って新しい部屋へ移動です。昇降口から学童クラブまでは短い距離ですが、小学校のルールを守っての歩き方の練習もしました。その姿はまるで“カルガモ親子のお引っ越し”のようなかわいい姿でした。

19日には、お世話になった校長先生、副校長先生にお礼のごあいさつに伺いました。2年生の3人が中心になって「ランチルームを貸していただきありがとうございます。」とみんなでお礼の言葉を言いました。



20日、子どもたちの「ただいま～」の声が新しい学童クラブ室に響き渡ります。広い室内を一つひとつ見てまわり、「わぁ～ひろ～い」「シャワー室がある」「トイレがきれい」と子どもたちは大喜びです。今は在籍人数も9人と少ないので、室内でもビーチボールで広々と遊べます。「新築のにおいがいいですね」とお迎えの保護者の方の声も。



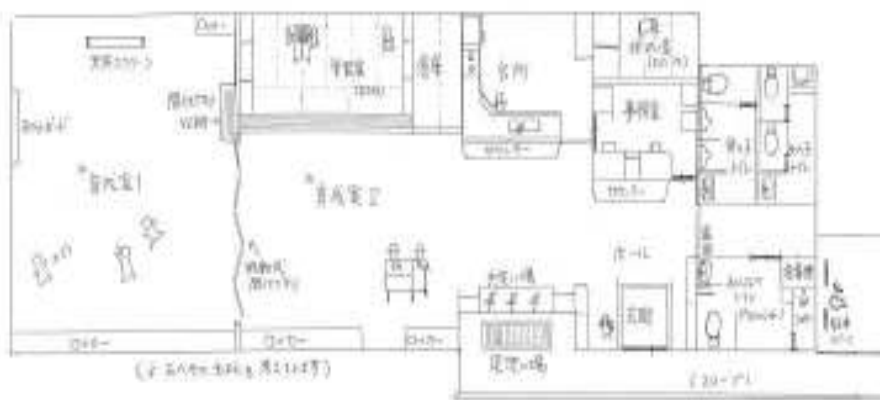
3月3日のひな祭りには新しい台所で、楽しみにしていたはじめての手作りおやつに挑戦。桜もちづくりをしました。生地を混ぜ、ホットプレートで一人ひとり自分の皮を焼き、あんこをはさみ桜の葉を巻いて出来上がり。おいしい桜もちができました。



6日には、親子で新築のお祝い食事会&保護者会を金井学童保育クラブ全世帯の参加の24名で行いました。夕方から用意した子どもたちの手作り桜もちと白玉入りフルーツポンチも大好評でした。

仮住まいのランチルームから念願のマイホームへ。子どもたちと一緒にほっと安心できる学童保育クラブをつくっていきたいと思っています。

金井学童保育クラブ 見取り図



(指導員 小野・戸田)

今後の予定

- 3月29日(土) 13時30分～ : 第24回 理事会(公民館 音楽室1)
- 4月 4日(金) 19時30分～ : 調査研究委員会(公民館 視聴覚室)
広報委員会(公民館 学習室1)
- 4月 5日(土) 19時30分～ : 事務局会議(公民館 学習室3)
- 4月18日(金) 19時30分～ : 運営委員会(公民館 学習室2)

編集後記

○発刊50号を迎えました。創刊号は『くれよん』ではなく「NPOニュース」でした。公募をしてこの名前が決まったのですが、この『くれよん』の名前は私たち法人の素晴らしい愛称になっていますね。
(金井指導員 小野)

『くれよん』は保護者と指導員で構成された広報委員会が毎月発行しています。バックナンバーの一部はホームページでご覧いただけます。

<http://www.machida-gakudou.com/>